

## 基礎経済科学研究所夜間通信研究科および自由大学院修了論文リスト

(夜間通信研究科時代 1988 年度までは完全にわかっているが、その後はわかるもののみリストした)

### \*1977 年度修了論文 12 本

ヒルファディングと経済民主主義—ドイツ社会民主党キール大会における演説を中心にして— 小淵 港  
エルマンスキーの科学的労働組織論の批判的検討—技術と労働の視角からの「企業管理における効率性と民主主義についての一考察— 陶山計介  
租税本質論序説—社会の共同財産の転化過程をめぐって— 小森治夫  
統計労働と住民自治—公務労働としての統計労働論— 榎 真輔  
公務扶助労働論—仲田論文「生活保護ケースワーカーのシラケの考察」の批判的検討— 武元 勲  
住民の貧困化と保育の社会化— 今井幸二  
消費者信用と現代的貧困— 山西万三  
現代の賃金と国家—いわゆる「間接賃金」をめぐって— 横山寿一  
国際情勢の把握と発達した資本主義諸国の共産党— 中橋幸二郎  
労働の社会科についてのノート— 長瀬晴彦  
農民層分解論と農民階層規定に関する一考察— 榎原正澄  
アメリカ金融資本成立期の農民運動—《紹介》John D.Hicks The Populist Revolt : A History of the Farmers' Alliance and the People's Party— 阿知羅隆雄

### \*1978 年度修了論文 9 本

現代技術者論の基礎視角—芝田進午氏の所説の批判的検討を中心に— 青水 司  
高知市における保育労働者の地域共闘—早出・居残り問題を発端として人員増がいかにも実現されたか— 上田秋助  
マルクスにおける国家・コミュニンの統一的認識—民主的自治体論への方法的接近— 田中秀幸  
税務労働論— 山田正明  
企業内福祉から社会保障へ—転換期の労働運動の課題— 大城 朗  
国家と革命—レーニン理論の発展と変遷—初期コミンテルンにおける統一戦線論の生成まで— 小寺俊彦  
イランの白色革命と土地問題— 松尾光喜  
三位一体的定式と直接的生産過程—いわゆる「通常の観念」の形成をめぐって— 西村 弘  
ロバート・オウエンの空想的社会主義—ロバート・オウエンの分業論を中心に— 的場信樹

### \*1979 年度修了論文 8 本

精神薄弱児施設における障害児と職員の発達保障—奈良県立登美学園の場合— 小沢祥子  
京都府下における商業振興に関する基本的な考え方—大型店問題と関連して— 金田 修  
繊維独占による中小企業支配の実態— 安満弁吉  
大都市型産業経済と中小零細業者振興政策—大阪市の住工混合地域の一研究ノート— 永吉秀幸  
炭鉱「合理化」反対闘争を通しての今日の労働運動の視角— 中原 優  
マルクス・エンゲルス「都市と農村」論の一視角—「都市と農村の止揚」と全面発達— 角田憲昭  
グラムシのヘゲモニー概念—「ユーロ・コミュニズム」研究のためのノート— 長谷川真知子  
レーニンの競争論—とくに「過渡期」との関連で— 音羽 周

### \*1980 年度修了論文 4 本

都市交通の危機と打開の方向—大阪市営交通を中心にして— 林 久和  
総合商社における「資本と労働」の一考察—スケッチ的試論— 宇多真揆也  
貧困の原点—失業・反失業と工場法— 西山賢一  
イタリア経済の基礎構造—国家企業と私的独占の関わりを中心に— 岡 宏一

### \*1981年度修了論文 8 本

現代社会教育に関する一考察—子どもの発達とおとなの発達の統一的把握について— 杉山 悟

住民要求の発達と公務労働―戦後における京都を舞台に― 田畑安敏

日比野正己氏の「障害者のまちづくりの思想」の検討 豊田裕子

昭和恐慌と都市財政 久保勝資

都市に巣喰う十二指腸虫―『大手私鉄』資本の一考察― 見田 徹

政府・財界の労働戦線戦略に対する総評・春闘共闘の運動方針批判 中原 優

V・パーロの支配利潤論に関する一考察―『最高の金融帝国』等の検討を中心に― 西田達昭

企業における諸管理システムと労働者 中山久雄

#### \*1982年度修了論文 8本

低所得層の発達保障―生健会活動を中心に― 伊藤興念子

保健婦活動における二重の貧困化を克服するための一考察 中村淑子

日本資本主義と郵政事業―「国民発達のための公企業」論序説― 橋本晴夫

案内広告代理業の「危機」―その原因と打開の方向― 広兼恒久

零細小売業者の存立条件と存在意義 掛 章孝

釜ヶ崎労働者の状態と西成労働福祉センターの役割 宇田綾生

公共事業をめぐる政官財癒着構造 石橋岳志

#### \*1983年度修了論文 1本

社会(福祉)事業の社会科学的認識の発展と、現代社会福祉事業の2～3の理論的課題 中井健一

#### \*1984年度修了論文 6本

民間社会福祉労働者の主体形成と人間発達 河合 隆

シャープ地方税財政改革の評価をめぐって 武田公子

税務労働論 石井 孝

労働金庫の現状と選択について 沖田洋一郎

「非行」問題と子ども組織の重要性について―登校拒否克服の経験の一報告を読んで― 折原ゆき

婦人労働者の発達課題―生命保険会社の女性たち― 野崎律子

#### \*1985年度修了論文 4本

戦後税制と大型間接税―直接税中心主義をめぐって― 河野吉男

労働組合運動の今日的課題と4. 17問題 水野喜志彦

マルクス・エンゲルスの家族論―「二種類の生産」論を中心に― 石川雅博

婦人解放における婦人労働者の役割―男女雇用平等法制定の運動から学ぶもの― 梶原聡子

#### \*1986年度修了論文 4本

高齢化時代と老人保健法―沢内村に学ぶ― 上田 均

新国際情報秩序から新国際経済秩序へ 角田知生

職場からOA化を考える 政田裕嗣

第2臨調下の「合理化」と税務労働論 今村 元

#### \*1987年度修了論文 6本

「神戸型都市経営」をこえて 池田 清

転換期における生活―生活問題の現代的構図 川口民記

教育問題と教育の協同化 高橋直樹

流通の情報機能の展開―生活情報の双方向型(対話型)情報流へ 菅野昌英

現代社会と労働者協同組合 井上秀城

現場研究者としての教員の主体形成 小嶋昭道

#### \*1988年度修了論文 1本

医療再編と拠出金制度 間崎元子

#### \*1995年度修了論文 一部タイトル等不詳 4本

温井賢子

『産業社会と人間』と教育の多様化、公教育の解体 黒川啓一

パート労働者の人権を守るたたかい―八木町臨時職員雇止撤回闘争を中心として 田中幸世  
豊田

**\*年度不詳 2本**

教師の維持可能性と研修 北川健次

人間発達ゼミで学んだもの―いくつかの「環境」思想 松田文雄

**\*2004年度修了論文 1本**

持続可能な社会に無用なプラスチックリサイクル 服部寿子